

# 事前防災地区整備プロジェクト きだに 木谷地区

(白川村 木谷 大洞)



## 1. 現状と課題

平成26年8月の豪雨により、山腹斜面の土砂が約500m流下し、下方のスキー場へ流出する被害が発生しました。山腹斜面には現在も土砂が堆積し、今後の豪雨で流出するおそれがあります。また、周辺の人工林は手入れ不足により林内に光が届かず、下層植生が衰退しているため適切な管理が必要です。

## 2. 対策

山腹斜面に堆積している土砂の流出の抑止及び土砂の発生を防止するための土留工の設置、下層植生や木の根の発達を図るための間伐を計画しました。これまでに6基の土留工を施工するとともに、4.5ヘクタールの間伐を実施しました。

計画の実施に当たっては、県、白川村、林業事業体の3者で打ち合わせや現地研修会を行い、情報の共有や技術力の向上を図っています。当現場は急斜面であるため、間伐した伐倒木が流下しないよう搬出利用に努めました。